

別紙3 モニタリング指標の情報収集役割分担表（灰色塗りは収集対象外）

カテゴリー	番号	モニタリング指標	調査項目	データの概要	データ 周期	調査実施主体	地域				データとりまとめ担当者等
							奄美 大島	徳之 島 (a)(b)	沖縄 島北 部	西表 島	
1. 遺産価値を表す固有種・絶滅危惧種が維持されていること											
(1) 種の保全状況	1	アマミノクロウサギの生息状況	ルートセンサスに基づく糞粒数 センサーカメラによる撮影率の推移	奄美大島の36本、徳之島の20本の調査ルートにおける糞粒密度（奄美大島：2006年～2026年・冬期、徳之島2007年～2026年・冬期）。 奄美大島に設置しているセンサーカメラデータ	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○			環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	2	オオトラツグミの生息状況	一斉調査に基づいた目視と鳴き声による発見 個体数	林道奄美中央線のルートセンサス（全長42km）による、さえずり位置・数（1990年～2026年・冬期）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所、 奄美野鳥の会	○				環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	3	ヤンバルクイナの生息状況	ブレイバック調査に基づく分布範囲及び推定 個体数	沖縄島北部187～258地点における、ブレイバック調査 による、反応があった場合の方向・距離・個体数 （2007年度～2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所			○		環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	4	ノグチゲラの生息状況	ブレイバック調査に基づく分布範囲	①沖縄島北部等の97～101地点における、ブレイバック 調査に対する反応の有無及び、反応があった場合の方向 ・距離・個体数（2016年度～2025年度）。 ②西銘岳における、ルートセンサスによる営巣数 （1999～2025年）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所			○		環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	5	カエル類の生息状況	ルートセンサスに基づく個体発見頻度	大国林道のルートセンサス（全長32km）による、カエル 類4種の確認個体数（2009年度～2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所			○		業務請負者 （データ照会先：環境省沖縄奄美自然環境事務所）
	6	希少ネズミ類の生息状況の把握	センサーカメラの撮影率とどんぐりの豊凶	奄美大島、徳之島、沖縄島北部に設置している自セン サーカメラデータ森林総合研究所が実施している『中 琉球ドングリ豊凶モニタリング調査』データ（2015年 ～2025年）	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○		環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	7	イリオモテヤマネコの生息状況	センサーカメラデータに基づく複数の固定サ イトにおける定住個体の有無	西表島内の29地点のセンサーカメラによる、個体識別 されたヤマネコの出現状況、繁殖状況、怪我・疾病等 の状況（2025年）。	1年	環境省環境省沖縄奄美自然環境事 務所、林野庁九州森林管理局				○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	8	カンムリワシの生息状況	ルートセンサスに基づく個体発見数	西表島低地部の4本のルートセンサスによる出現個体 数、成長段階（2012年～2026年・冬期）。	1年	環境省環境省沖縄奄美自然環境事 務所、Island Ecosystem Research				○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	9	希少植物の生育状況の把握	主要生育地におけるルートセンサス・重点区 間調査による、対象種の個体数、環境変化等	各島において事前に設定した希少植物のモニタリング 区間、対象種に基づき環境省職員が調査した年ごとの 個体数や坡度の変化。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	10	希少昆虫類の生息状況	主要生息地におけるルートセンサス・トラッ ク調査・生息可能木調査等に基づく個体発見 数	奄美大島、徳之島ではアマミルバネクワガタ及びミ ルダイコクコガネの生息状況（2020年度～2025年 度）。沖縄島北部及び西表島はデータ不足。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	11	遺産価値を表す種全体の生息状況	センサーカメラデータ及び巡視、パトロー ル、分布調査等における希少動物の発見地点 情報	環境省が実施した各種調査業務及び、林野庁が実施し た巡視における希少動物発見地点情報（2015～2021年 度）*。 *2020～2021年度は、林野庁データは含まない。	1年	環境省環境省沖縄奄美自然環境事 務所、林野庁九州森林管理局	○	○	○	○	業務請負者 （データ照会先：環境省沖縄奄美自然環境事務所*） *林野庁実施分も含む。

カテゴリー	番号	モニタリング指標	調査項目	データの概要	データ 周期	調査実施主体	地域				データとりまとめ担当者等
							奄美 大島	徳之 島 (a)(b)	沖繩 島北 部	西表 島	
(2) 生態・生育環境の保全状況	12	森林全体の面的な変動	衛星画像	2025年の、各島の衛星画像Planet Dove（地上解像度：3.0m）。必要に応じて現場確認結果やWorld View-2の高解像度衛星画像、関係各所ヒアリングを検討材料に含めた。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	13	主要生息環境の変動	森林生態系保護地域内のモニタリング	森林生態系保護地域の森林現況（毎木・植生調査）・野生動物生息調査・資料調査等（2011年～2025年）。	5年	林野庁九州森林管理局	○	○	○	○	林野庁九州森林管理局
	14	気候変動の影響を受けやすい環境の変動	定点カメラによる景観写真及び温湿度	老齢林及び深流、雲霧帯等、複数の固定サイトにおける、定点カメラを用いた景観写真及び温湿度計のデータ（2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
2. 遺産価値を表す固有種・絶滅危惧種への人為影響が低減／過去の影響が改善されていること											
(1) 個体の非自然死	15	傷病救護及び死体回収の件数と原因	アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、ノグテガラ、イリオモテヤマネコ、カンムリワシの傷病救護及び死体回収の件数と原因	地域住民等からの連絡を受けて回収した傷病個体・死体回収の件数とその原因（2000年～2025年）。	1年	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所、NPO法人どうぶつたちの病院沖縄、国立環境研究所、いんまや動物病院、奄美野生生物医学センター、徳之島動物病院	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
	16	交通事故の発生状況	アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、イリオモテヤマネコの交通事故確認件数	地域住民等からの連絡を受けて回収した傷病個体・死体のうち、交通事故と判定された個体数（奄美大島・徳之島は2000年から、沖繩島北部は1995年から、西表島は1978年から、2025年まで）。 アマミノクロウサギ推定個体数（2003年度～2021年度）、ケナガネズミ撮影率（奄美大島2008年度～2025年度、徳之島2012年度～2025年度）又は推定生息域面積（沖繩北部2008年度～2025年度）、ヤンバルクイナ推定生息密度・推定個体数（2007年～2025年）。 西表島の交通速度の割合・通行車両の割合（2022年～2025年）、交通量（2013年～2025年）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
(2) 個体の捕獲・採取	17	動植物の密猟・密輸に関する情報	①密猟・密輸及びその疑いのある事案（違法採集や持ち出し等）の発生件数	巡視やパトロール、関係省庁・市町村・地域住民からの通報等によって得られた希少動植物の密猟・密輸情報等の件数（2018年度～2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、鹿児島県自然保護課、沖繩県自然保護課、各市町村	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
			②動物を採集するための捕獲器及び、車両の確認台数と発見率	奄美大島、徳之島、沖繩島北部、西表島における、希少種パトロール等の実施回数及び、昆虫採集トラップ等発見数、車両確認台数から、パトロール1回当たりのトラップ発見率、車両発見率を算出（2015年度～2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、鹿児島県自然保護課、沖繩県自然保護課、各市町村	○	○	○	○	環境省環境省沖縄奄美自然環境事務所
3. 脅威となる外来種が減少していること											
	18	フリリマングースの生息状況	マングースの生息密度、分布範囲	奄美大島及び、沖繩島北部のマングース防除事業における、わな捕獲頭数、のべわな日数、CPUE、探索犬による捕獲頭数、沖繩島北部の捕獲メッシュ数（奄美大島は2000年度～2025年度、沖繩島北部SFライン以北は2000年度～2025年度、SFライン以南は2014年度～2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所、沖繩県自然保護課	○		○		業務請負者 （データ照会先：環境省沖縄奄美自然環境事務所* *沖繩県実施分を含む。

カテゴリー	番号	モニタリング指標	調査項目	データの概要	データ 周期	調査実施主体	地域				データとりまとめ担当者等
							奄美 大島	徳之 島 (a)(b)	沖繩 島北 部	西表 島	
(1) 環境的外来種の生息・生育状況等	19	ネコの生息状況及び飼養状況	①遺産地域・緩衝地帯におけるネコの生息状況（撮影率、単位努力量あたりの捕獲数）	マンガース防除事業やネコ対策事業によって得られたセンサーカメラによるネコの撮影率、CPU（奄美大島・徳之島2015年度～2025年度、沖繩島北部2018年度～2025年度）、個体の遺棄に関する情報（2015年～2025年）。	1年	環境省沖繩奄美自然環境事務所、 沖繩県自然保護課	○	○	○		環境省環境省沖繩奄美自然環境事務所
			②飼い猫の管理状況（飼養登録個体数、MC装着率、不妊去勢手術個体数・手術率（2018年度～2025年度）、室内飼養個体数・室内飼養率（2021年度～2025年度）。	市町村に登録された飼い猫の飼養登録個体数、マイクロチップ装着個体数及び装着率、不妊去勢手術個体数・手術率（2018年度～2025年度）、室内飼養個体数・室内飼養率（2021年度～2025年度）。	1年	奄美市、大和村、宇校村、瀬戸内町、龍郷町、徳之島町、天城町、伊仙町、国頭村、大宜味村、東村、竹富町	○	○	○	○	業務請負者 （データ照会先：各市町村世界遺産担当課室）
	20	ノヤギの生息状況	ノヤギの生息状況（撮影率、分布範囲）、捕獲状況（頭数、単位努力量あたりの捕獲数）。	各機関が実施しているノヤギの生息状況調査及び捕獲状況に関するデータ（～2025年度）	1年	沖繩奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、沖繩県自然保護課、鹿児島県自然保護課、各市町村	○		○	○	環境省沖繩奄美自然環境事務所* （データ照会先：各市町村世界遺産担当課室） *林野庁、沖繩県、鹿児島県実施分を含む。
			①遺産地域・緩衝地帯・周辺管理地域における防除優先外来種の生息・生育状況	※指標内容検討中	1年	環境省沖繩奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、鹿児島県、沖繩県、各市町村、地域住民	○	○	○	○	環境省沖繩奄美自然環境事務所* （データ照会先：各市町村世界遺産担当課室） *林野庁、沖繩県、鹿児島県実施分を含む。
21	外来種の侵入状況	②沖繩島北部への侵入警戒外来種の生息状況	※指標内容検討中	1年	環境省沖繩奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、鹿児島県、沖繩県、各市町村、地域住民	○	○	○	○	環境省沖繩奄美自然環境事務所* （データ照会先：各市町村世界遺産担当課室） *林野庁、沖繩県、鹿児島県実施分を含む。	
		4. 推薦地や周辺の観光利用が持続可能な方法で行われていること									
				海路・空路別入込者数*・入域者数**（2018年～2025年）、月別入込者数*・月別入域者数**・観光入込者数及び観光率*（2018年～2025年）* *奄美大島、徳之島のみ **西表島のみ	1年	鹿児島県大島支庁総務企画課、竹富町世界遺産推進室、一般社団法人奄美群島観光物産協会	○	○		○	業務請負者 （データ照会先： 鹿児島県Webサイト 奄美群島への入込・入域客数/奄美群島観光の動向 http://www.pref.kagoshima.jp/aa01/chiiki/oshima/chiiki/zeniki/oshirase/kankoutoukei.html 、 竹富町Webサイト 観光客入域者数 https://www.town.taketomi.lg.jp/administration/toukei/kankonyuiki/) 環境省沖繩奄美自然環境事務所 （データ照会先：一般社団法人奄美群島観光物産協会）
			宿泊施設数及び宿泊施設収容人数、種別宿泊施設数*及び種別宿泊施設収容人数*（2018年～2025年）。 *沖繩島北部、西表島のみ	1年	鹿児島県大島支庁、沖繩県観光政策課、竹富町、一般社団法人奄美群島観光物産協会	○	○	○	○	業務請負者 （データ照会先： 鹿児島県Webサイト 奄美群島の概況 https://www.pref.kagoshima.jp/aa02/chiiki/oshima/chiiki/zeniki/gaikyou/index.html 、 沖繩県Webサイト 沖繩県宿泊施設に関する統計データ https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/15853.html 、 竹富町世界遺産推進室）	

カテゴリー	番号	モニタリング指標	調査項目	データの概要	データ 周期	調査実施主体	地域				データとりまとめ担当者等
							奄美 大島	徳之 島 (a)(b)	沖縄 島北 部	西表 島	
① 観光利用の状況	22	エコトリズムを含む観光利用の状況		沖縄島北部の主要路線における「全国道路・街路交通情勢調査」(全国道路センサス)の一般交通量調査・24時間交通量。 (1999年～2025年、概ね5年ごと)	5年	内閣府沖縄総合事務局、国土交通省			○		業務請負者 (データ照会先： 国土交通省道路局Webサイト 国道・街路交通情勢調査(道路交通センサス)。「全国道路・街路交通情勢調査、一般交通量調査結果(可視化ツール、箇所別基本表)」 https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/ir-data.html 内閣府沖縄総合事務局道路行政評価サイト 交通量/道路交通センサス http://www.dc.ogb.go.jp/road/ir/index.html)
				自然環境観光施設の施設利用者数(2015年度～2025年度)。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所、鹿児島県、奄美市、大和村、龍郷町、天城町、国頭村、大宜味村、東村	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所
			観光利用に関する基礎情報 (地域別の入込者数・入域者数、宿泊施設の収容可能人数、自然環境観光施設の利用者数、エコツアーガイド登録者数・保全利用協定締結事業者数、主要なエコツアー利用場所の利用者数・利用状況等)	①エコツアーガイド登録者数等 奄美大島、徳之島：登録ガイド数及びその事業者数、認定エコツアーガイド数及びその事業者数(2018年度～2025年度)。 国頭村、大宜味村：「やんばるの森ガイド制度」による登録・認定ガイド数及びその事業者数(2025年度)。村独自の登録・認定ガイド数及び事業者数(2025年度)。 国頭村：国頭村公認ガイド数、公認ガイド事業者数(2021年度～2025年度)。 東村：NPO法人東村観光推進協議会エコ部個人・法人会員数(2018年度～2025年度)。 西表島：西表島エコトリズム協会調査によるガイド事業者数(2018年度～2025年度)。「竹富町観光案内人」免許取得事業者が申請登録した延べ登録ガイド数及び免許取得事業者数(2020年度～2025年度)。 ②保全利用協定締結事業者数 沖縄島北部、西表島：保全利用協定区域、締結事業者、活動内容、協定有効期間(沖縄島北部：2014年～2025年、西表島：2004年～2025年)	1年	奄美大島エコツアーガイド連絡協議会、徳之島エコツアーガイド連絡協議会、奄美群島エコトリズム推進協議会、沖縄県自然保護、国頭村、大宜味村、東村、竹富町	○	○	○	○	業務請負者 (データ照会先： ①エコツアーガイド登録者数等： 奄美群島エコトリズム推進協議会事務局(奄美群島広域事務組合)*、国頭村環境保全課、大宜味村企画観光課、東村企画観光課、竹富町自然観光課 ②保全利用協定締結事業者数： 沖縄県Webサイト 県知事認定保全利用協定 https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyokuyoutei_nintei.html *奄美大島エコツアーガイド連絡協議会、徳之島エコツアーガイド連絡協議会実施分を含む。

カテゴリー	番号	モニタリング指標	調査項目	データの概要	データ周期	調査実施主体	地域				データとりまとめ担当者等	
							奄美大島	徳之島(a)(b)	沖縄島北部	西表島		
				主要なエコツアー利用場所について、利用者カウンター等でカウントされた利用者数（2015年度～2025年度、（徳之島のみ2019年度～2025年度））。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所、林野庁九州森林管理局、鹿児島県、大和村、宇検村、国頭村、東村、大宜味村、竹富町	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所	
				島内におけるエコツアー利用場所の把握及び、地図化（2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所	
(2) 観光利用に伴う環境負荷	23	エコツアー利用場所の環境変化	①定点カメラデータに基づくエコツアー利用場所の景観と土壌侵食や登山道の拡幅状況	主なエコツアー利用場所や歩道沿い等において、景観評価と土壌侵食や登山道の拡幅状況の変化を把握する。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所	
			②主要な利用河川における水質	エコツアー利用に伴う水質の変化を把握する。	5年	環境省沖縄奄美自然環境事務所					○	環境省沖縄奄美自然環境事務所
			③主要なエコツアールート沿いの植生	エコツアーの利用に伴うルート沿いの植生の変化を把握する。	5年	環境省沖縄奄美自然環境事務所				○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所
5. 気候変動や災害の影響又はその予兆が早期に把握されていること												
(1) 気象統計	24	気象データの変化	気温、降水量、台風関連データ（発生、接近、上陸数）	気象庁データ	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所	
	12	森林全体の面的な変動	衛星画像	2025年の、各島の衛星画像Planet Dove（地上解像度：3.0 m）。必要に応じて現場確認結果やGoogle Earthの高解像度衛星画像を検討材料に含めた。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所	

カテゴリー	番号	モニタリング指標	調査項目	データの概要	データ 周期	調査実施主体	地域				データとりまとめ担当者等
							奄美 大島	徳之 島 (a)(b)	沖縄 島北 部	西表 島	
(2) 気象変化と植物相の変化	25	モデル地域における森林及び植生の変化	①遺産地域内の固定調査サイトにおける木本類の種数、種構成、地上部炭素現存量、林床と低木層の被度	奄美大島（金作原）、沖縄島北部（琉大与那演習林）における、1haの固定調査区における、胸高周囲長が15cm以上の全ての樹木の、樹種及び、胸高周囲長、地上部現存量、多様性指数、林床植生被度。 奄美大島は5年毎調査（2005～2025年）、沖縄島北部は毎年調査（2004年～2025年）。西表島は5年毎調査（2020年～2025年）。 台風の年間発生数、接近数（全国、奄美・沖縄地域、1951年～2025年）、非常に強い熱帯低気圧の存在頻度の変化予測。	1～5年	環境省生物多様性センター	○		○	○	業務請負者 （データ照会先： 環境省生物多様性センターWebサイト*、 https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/ ） *モニタリングサイト1000森林・草原調査報告書及び、毎木調査データファイルを使用。なお、Webサイト未公開データの利用には、「モニタリングサイト1000（森林・草原調査）コア・準コアサイトデータ取扱内部規約」に基づき、調査サイト代表者及び環境省生物多様性センターとの調整・申請が必要。
			②陸域植生に関するモニタリング	気候変動適応計画に基づき、対象地域内の特定植物群落に関してモニタリングを行う。 ※奄美大島、徳之島、沖縄島北部は2020～2025年の調査結果、西表島は2017～2025年の調査結果。	5年	国立環境研究所、鹿児島大学、琉球大学	○	○	○	○	環境省沖縄奄美自然環境事務所
(3) 気象変化と動物相の変化	26	動物相及び主要生息環境の変化	遺産地域内の固定調査サイトにおける鳥類の種数、種構成、個体数	奄美大島（金作原）、沖縄島北部（琉大与那演習林）、西表島（相良川上流域）の固定調査ルートにおける、繁殖期（夏）、越冬期（冬）の出現鳥類種及び、個体数、種構成（優占種・優占度）。 奄美大島、沖縄島北部は毎年調査（繁殖期2009年～2025年度、越冬期2009年度～2025年度）、西表島は基本的に5年毎調査（繁殖期2009年度～2025年度、越冬期2009年度～2025年度）。	1～5年	環境省生物多様性センター	○		○	○	業務請負者 （データ照会先： 環境省生物多様性センターWebサイト*、 https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/ ） *モニタリングサイト1000陸生鳥類調査報告書及びデータファイルを使用。なお非公開の希少種情報を含むデータファイルの利用には、利用申請が必要。
			14	気候変動の影響を受けやすい環境の変動	定点カメラによる景観写真及び温湿度	高齢林及び渓流、雲霧帯等、複数の固定サイトにおける、定点カメラを用いた景観写真及び温湿度計のデータ（2025年度）。	1年	環境省沖縄奄美自然環境事務所	○	○	○